



国労東北自動車支部

第66回支部定期大会

仙台市

職場の改善、組織の強化・拡大を確認

1月25日(月)仙台地本会議室において、第66回東北自動車支部定期大会が開催されました。1月15日(金)未明に発生した軽井沢スキーツアーバス事故で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、二度とこのような事故を起こすことのないよう職場の労働条件改善をはじめ組織の強化・拡大を真剣に議論し、あらためて頑張る決意を固めました。

新田副委員長の司会、議事進行で始まり来賓の原子地本書記長より「国労は2月で結成70年を迎え

2016年度支部役員

執行委員長	北山 修司(仙台)
執行副委員長	新田 順一(盛岡)
書記長	兜森 秀昭(秋田)
執行委員	早坂 修悦(古川)
一〃	岩崎 宏(青森)
会計監査	佐藤 浩二(福島)
一〃	浅利 功(盛岡)

よろしくお願ひします!!

る。団結なくして権利なし、闘いなくして権利なしということ運動に生かしてもらいたい。昨年、現職死亡が3名続いた。職場要求と大衆行動が大切。また、昨年地本で4名の仲間が加入した。皆さんが動かない限り拡大はない。参議院選挙と合わせ運動を前に」と提起されました。続いて交通共済東日本本部橋本副本部長より「事象が発生した場合マイナンバーの提示が求められるのでご理解を賜りたい」と協力を求め、その後、経過・運動方針・決算予算を承認し無事終了しました。



2016年支部旗開き

安保さん激励会開催

支部大会、共済担当者会議終了後、仙台駅地下「海の台所・波奈」において2016年支部旗開きとエルダー社員になった安保さんの激励会を盛大に開催しました。浅利さん(盛岡)の乾杯の音頭ではじまり安保さんより「国労に入って42年が経ち、一度もぶれることなくやれたのは、ここにいる仲間はもちろん、共闘や先輩のおかげ。感謝している。支部を発展させ頑張っていく。」と力強く挨拶。今年もみんなが労働条件改善に向け頑張ろう!



〈主な意見〉

- 職場内で自家用車に傷をつけられ問題になった。職場内がギクシヤクしている。
- 地下鉄東西線開業に伴いバスプールの一部が変更になった。自家用車が逆走して侵入し危険な状態。誘導員の配置など対策を立ててもらいたい。また、最近苦情が多くなっているが余裕のある運転時間を設定すれば解消される。
- ある会社幹部が「社員の話ばか

発 責 北山修司
編 責 教 宣 部
NO,80
2016. 2.6

国労加入
で職場を
変えよう

第127回地方委員会
2月20日(土) 10時30分
仙台市・ホテル法華クラブ

- り聞いていたら会社は潰れるぞ」と言ったが60歳以降の働き方の選択肢を拓げなければいつ身体が壊れるかわからない。
- 土日祝ABCダイヤで7回も車両が変わり異常だ。3型・5型で200kmも走れば靴底の減りが早く疲れる。
- 秋田、二戸の契約社員は訓練で盛岡へ。金銭的に大変な状況だ。
- 22時15分出勤、雪害のため翌日23時30分帰着。異常だ。